

L-One System Tools

ソフトウェア取扱い説明書

Revision 1.01 2017/01

アース株式会社

Yokohama-Shi Kanagawa-Ku Sakae-Cho

5-1 Yokohama Creation Square, Floor 13

TEL. 045-440-1123 FAX. 045-440-1106

E-mail: ars_millennium@arsjp.com

Website: <http://www.arsjp.com/>

Revision History

Rev.	Date	Comment
1.00	2017/01	Document creation
1.01	2017/01	Formatting

Table of Contents

1	Application Overview.....	4
2	Environment.....	4
3	Installation.....	5
3.1	インストール	5
3.2	L-One System Tools の起動.....	6
4	Test Tools.....	7
5	USB Rescue.....	8

1 Application Overview

本ソフトウェア（以降、L-One System Tools という）は、L-One Basic/ L-One Pro 専用のテストツールになります。初期設定、データ入力のテストなどにご利用出来ます。

2 Environment

以下の環境で動作確認を行っております。

CPU : Celeron 430(1.4GHz) 以上

メモリ : 2GByte

OS : Windows 7 以上

※ メモリはデータの一時保存に使用するため 1 GByte 以上を推奨いたします。

※ L-One System Tools の動作には、「.NET Framework」と「Microsoft Visual C++ Runtime」が必要です。多くの PC の場合、新規の導入は不要ですが、L-One System Tools インストール後、起動できない場合は以下のサイトからダウンロードしてインストールをお願いいたします。

「.NET Framework」

<http://msdn.microsoft.com/ja-jp/netframework/aa569263.aspx>

「Microsoft Visual C++ Runtime」

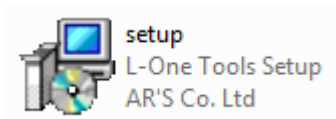
<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?familyid=9b2da534-3e03-4391-8a4d-074b9f2bc1bf&displaylang=ja>

3 Installation

3.1 インストール

ご使用にあたり、接続する PC にソフトウェア「L-One System Tools」のインストールを行います。

付属 CD-ROM の[Application]フォルダ内にある[setup.exe]をダブルクリックしてください。



以降、画面の指示に従ってインストールしてください。

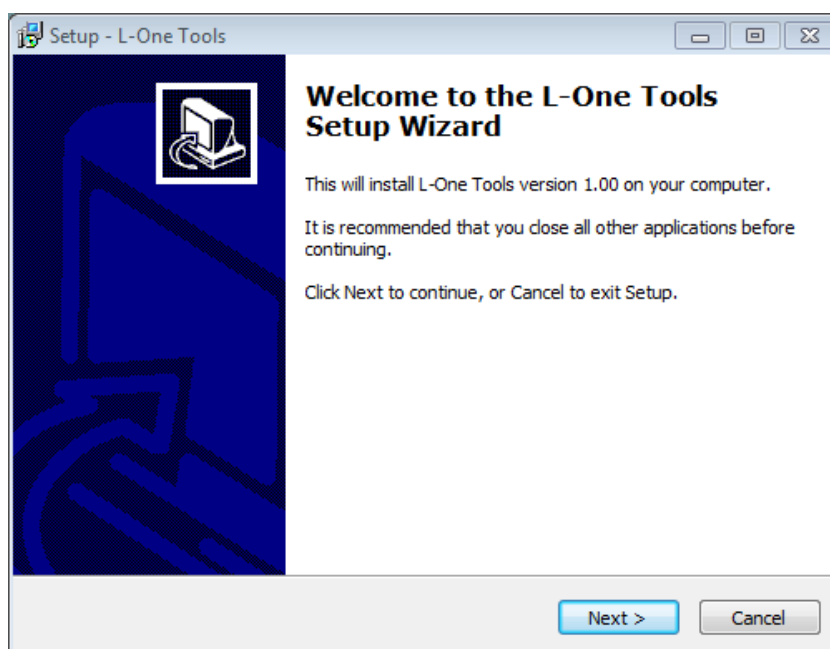


図 3-1 インストール画面

※環境によっては Windows の警告が表示されますがインストールを継続してください。

3.2 L-One System Tools の起動

デスクトップアイコンもしくはスタートメニューから[L-One System Tools]を起動します。



図 3-2 スタートアップ画面

※L-One System Tools Application を起動できない場合は「.NET Framework」「Microsoft Visual C++ Runtime」をインストールする必要があります。ダウンロードサイトは[2. 動作環境]をご覧ください。

スタートアップ画面から「Test Tools」と「USB Rescue」の二つの動作モードに出来ます。アイコンをクリックするとそのモードになります。

4 Test Tools

Test Tools を利用することで、Ethernet の API を利用し、簡単に L-One にデータを入力することが出来ます。

スタートアップ画面から「Test Tools」をクリックすると、下記の画面が起動します。

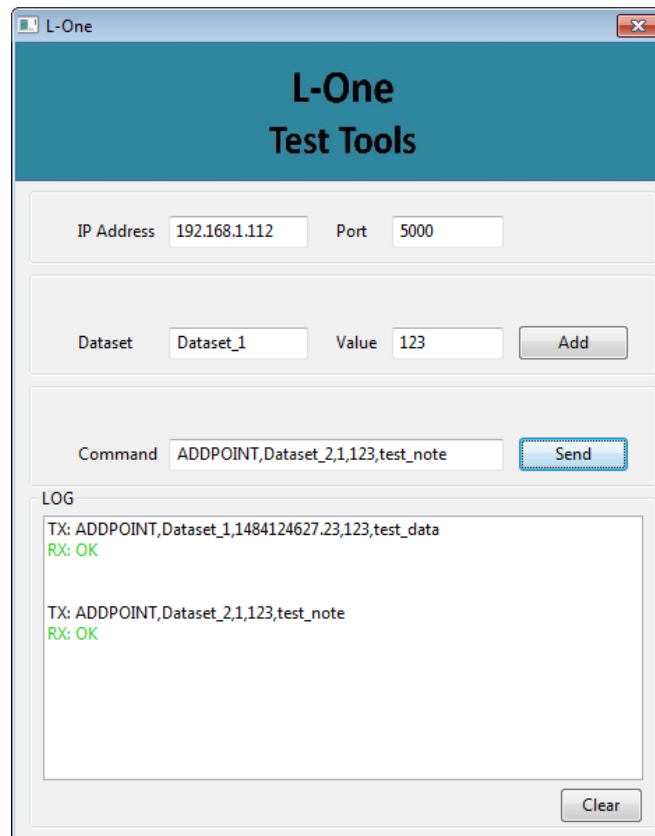


図 4-1 Test Tool 画面

1. 宛先の L-One の IP-Address と Port を入力して下さい（デフォルトのポートが 5000 になります）
2. Dataset の名前を入力し、Value も入力して下さい
3. Add ボタンをクリックして下さい

L-One とのコマンドのやりとりが「LOG」のところに表示されます。

※ Dataset が存在しない場合、L-One の API は自動的に作成するようになっています。

「Command」のところで、修道にコマンドを作成し、送信することが出来ます。コマンドのフォーマットに関しては L-One のユーザマニュアルをご確認下さい。

5 USB Rescue

USB Rescue を利用し、L-One のネットワーク設定をリセットする USB メモリを作成出来ます。スタートアップ画面から「USB Rescue」をクリックすると、下記の画面が起動します。

L-One
Create Rescue Disk

IP Address 192 · 168 · 1 · 130
Netmask 255 · 255 · 255 · 0
Gateway 192 · 168 · 1 · 1

Defaults

USB Drive G:\ Generate

Success

1. 希望のネットワーク設定を入力して下さい。
2. USB メモリを PC にさし、「USB Drive」から選択して下さい。
3. 「Generate」をクリックすると、USB Rescue が作成されます。

L-On が起動した後に USB Rescue を USB に接続と、数秒後にメロディーがなり、設定の変更が終了になります。USB Rescue を外し、L-One の電源を一回オフにし、再起動してから USB Rescue のネットワーク設定が有効になります。

アーズ株式会社

横浜市神奈川区栄町 5-1 横浜クリエーションスクエア 13F

TEL.045-440-1123 FAX.045-440-1106

E-mail: ars_millennium@arsjp.com

<http://www.arsjp.com/>

- 製品名、会社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
- 本書の内容は改良のため予告なしに仕様・デザインを変更することがありますのでご了承ください。